

千代田区景観まちづくり重要物件

61

旧李王家東京邸

(赤坂プリンスクラシックハウス)

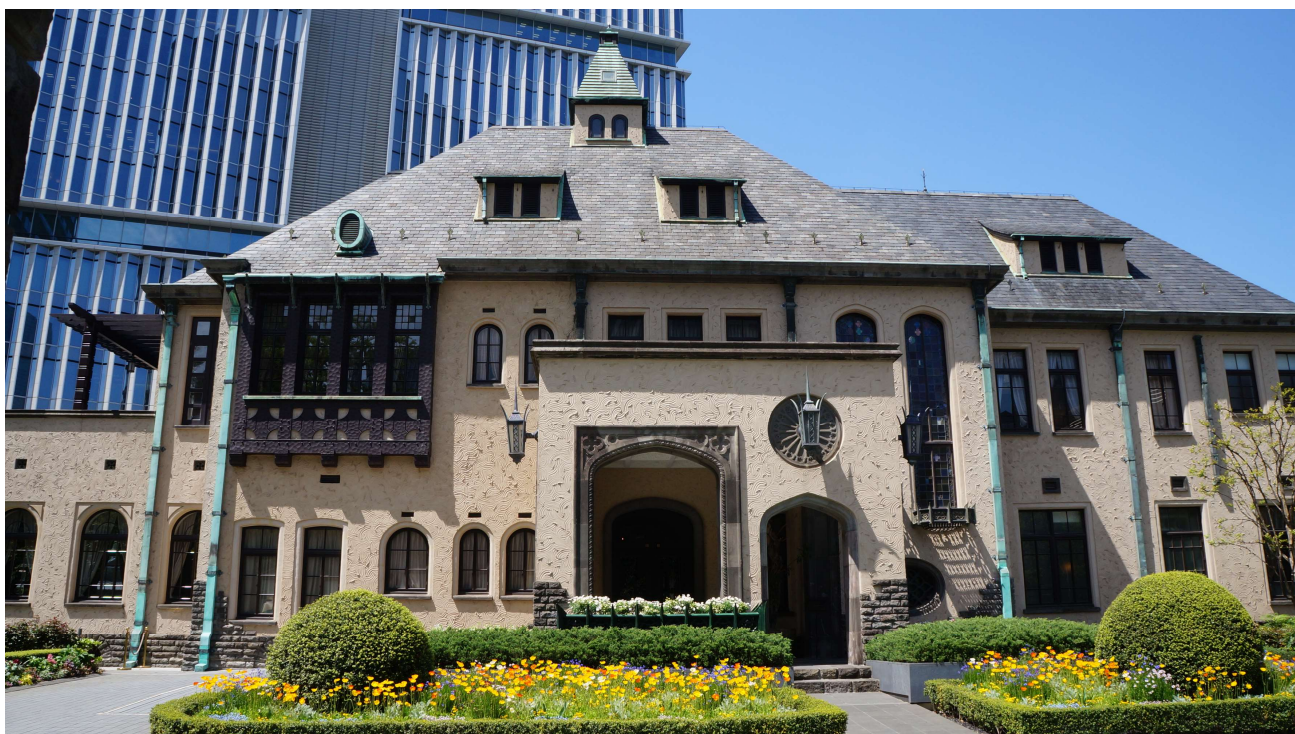
指定日 2023（令和5）年3月30日

所在地 紀尾井町1番2号

設計者 旧宮内省内匠寮（北村耕造、権藤要吉）

竣工 1930（昭和5）年
2016（平成28）年 改修

文化財等
指定状況 都指定有形文化財（建築物）



▲赤坂プリンスクラシックハウス

歴史・文化的特徴

1930（大正 19）年、紀州徳川家や北白川宮家の屋敷があった場所に、朝鮮王家の李垠殿下と方子妃の邸宅として建てられました。旧李王家邸として、朝鮮王朝最後の皇太子と日本の皇族の間に生まれた李王家の子孫が暮らしました。

終戦後は「参議院」議長公邸などに利用されたのち、1955（昭和 30）年、赤坂プリンスホテルとして開業されました。2011（平成 23）年、東京都有形文化財に指定されました。

その後リノベーションされ、2016（平成 28）年から結婚式場として利用されています。伝統を感じる洋館で、歴史的な雰囲気と最新の設備を兼ね備えています。

意匠・構造の特徴

チューダー様式を中心に様々な西洋の建築様式が取り入れられています。大きな寄棟屋根に屋根窓や塔屋が組み合わされており、階段室のステンドグラスが目を引きます。建物の目の前にはバラの庭や「水の広場」と呼ばれる開放的な空間があります。

構造は鉄筋コンクリート造（一部木造）で、2階建て塔屋付きです。



▲緑青の様子



▲ステンドグラス

周辺景観との関係

プリンス通りに面しており、塀や植栽が低いため歩道からもよく見ることが出来ます。東京ガーデンテラス紀尾井町の一部として周辺の景観と調和しています。

東京の中心にあるにもかかわらず、静かで落ち着いた雰囲気となっています。